

平成27年度

め お と だ け

男女岳ダム見学会

第1回 平成27年6月26日(金)

吉岐市立八幡やはた小学校4・5年生(17名)

第2回 平成27年6月30日(火)

吉岐市立瀬戸せと小学校4年生(12名)

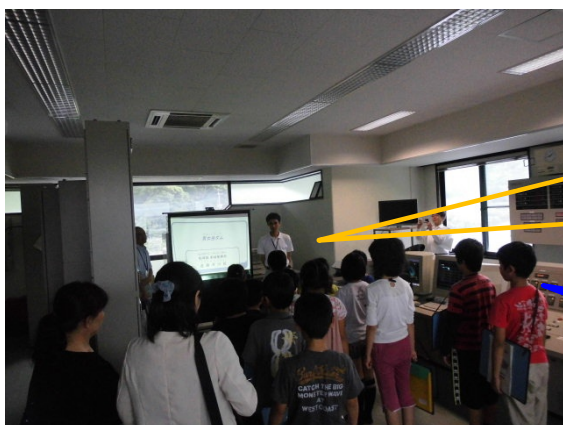
長崎県吉岐振興局

地元小学校に通っている生徒を対象とした男女岳ダムの見学会を開催しました。

普段は入れないダム堤体の中や管理事務所を見学し、ダムの様々な機械や大きさに驚いた様子でした。

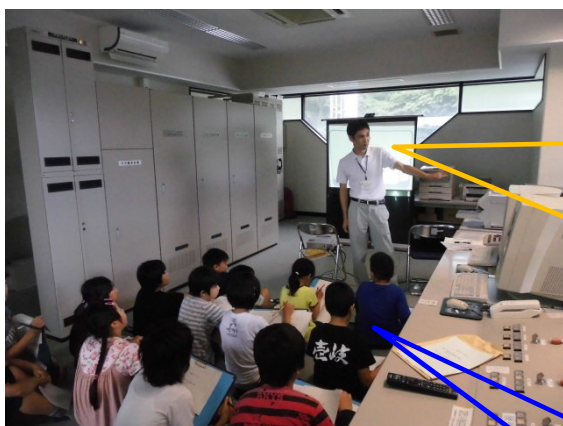
見学会の様子を紹介します。

まずはダムについて学習しよう！



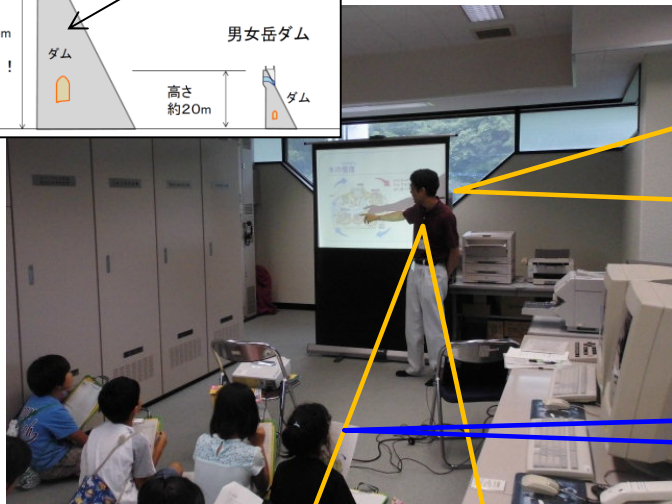
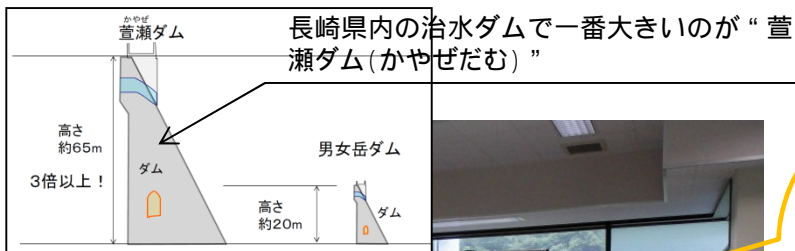
ここは、男女岳ダムを管理するための機械がたくさんある“管理事務所”です。

機械はどれくらいあるの
だろう？



ここには、ダムの放流量や貯水量が一目でわかるモニターや放流量を調整する機械などダムを管理するための機械がたくさんあります。およそ20機くらいかな。

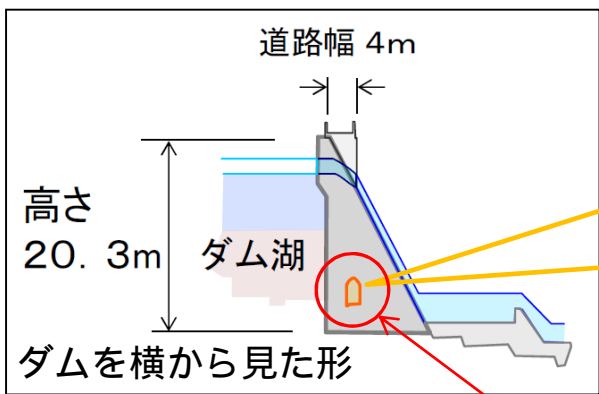
この男女岳ダムはどのくらい
の大きさなの？



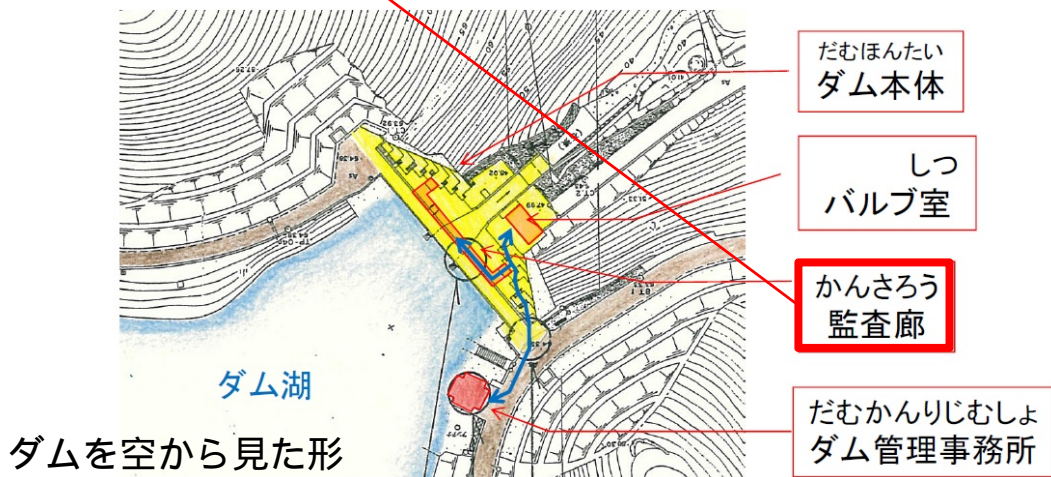
男女岳ダムは高さ20mありますが、実は長崎県内の洪水を調整するダム（治水ダム）の中で一番小さいダムです。

そうなんだ！

男女岳ダムは小さなダムですが、12万2千m³の水をためることができます。これは、25mプール約340個分と同じ水の量です。



ダム堤体には、内部からダムに異常が発生していないかを確認するための通路（監査廊）があります。これからダム堤体の中に入ってみましょう。



ダム堤体の中に入ってみよう！

ダム堤体の中に入ってみよう！



ここは、男女岳ダムの堤体に入る入口です。

涼しいね！

ダム堤体の中は一年中気温がほとんど変わりません。夏は涼しく、冬は暖かく感じられます。

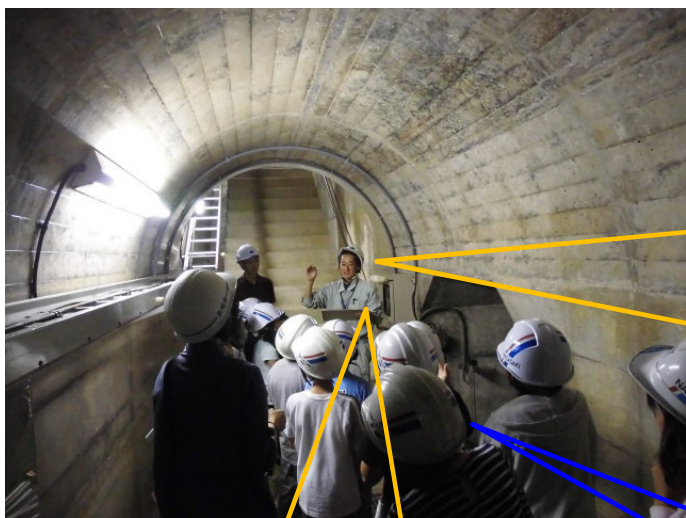


ダム堤体の中には、ダム堤体に水漏れが発生していないかや、ダムに作用している力（ダムを持ち上げようとする力）が異常でないかなどを計測する機械があります。

ダムの中にもいろんな機械があるんだ！

ダムの異常を確認するための機械の他にも、地震の震度を計測する地震計もあります。

ダムの放流設備を見てみよう！



ダムの放流設備を見てみよう！



ここはダムに貯めた水を下流の川に流す放流設備がある“バルブ室”です。下流の川が干上がらないように常に水を放流しています。



維持放流管

大きいパイプがたくさんあるね！

常に川に水を放流している維持放流管の他に、ダムに水が貯まりすぎた場合に緊急で放流する緊急放流管もあります。

緊急放流管（他の放流管と比べるとかなり大きい）

いつもは毎秒0.001 m³放流していますが、今回特別に毎秒0.060m³放流しました。



すごい勢いで放流されているね！

毎秒0.060m³で放流すると、約3分間で350mlのペットボトル3万本分になります。

見学会に参加していただいた生徒の皆様



平成27年6月26日撮影

八幡小学校の4・5年生と関係者の皆様



平成27年6月30日撮影

瀬戸小学校の4年生と関係者の皆様